令和４年度　看護師職能Ⅱ委員会　活動報告

■委員名

委 員 長：於田里実

副委員長：上月昭宏

委　　員：田中喜代子　黒澤美雪　原田三奈子　嶋田加壽代　井口いづみ　片畠常代
岩崎妙子　井上より子　佐野和子　山中彩

■活動目標

１．地域で働く看護職の連携と協働の推進を図る。

２．介護施設や事業所における看護の役割を強化する。

■委員会開催状況と検討内容

回	開催日	出席者	内容
1	令和４年４月９日 （オンライン併用）	9名	・令和３年度活動報告、令和４年度活動計画内容確認 ・「介護施設における看護職員のあり方とは」研修会打ち合わせ
2	令和４年５月７日 （オンライン併用）	10名	・研修会準備、打ち合わせ ・「介護施設における看護職員のあり方とは」開催
3	令和４年５月21日 （オンライン併用）	6名	・保健師助産師看護師職能合同交流会　打ち合わせ ・「介護施設における看護職員のあり方とは」 アンケート結果集計
4	令和４年７月２日 （オンライン併用）	10名	・理事会報告 ・「地域で働く看護職の交流会」打ち合わせ
5	~~令和４年８月６日~~	中止	
6	令和４年９月17日 （オンライン併用）	7名	・「地域で働く看護師の交流会」企画書作成 ・看護師職能ⅠⅡ委員会合同交流会打ち合わせ ・保健師助産師看護師職能合同交流会打ち合わせ
7	令和４年10月15日	6名	・保健師助産師看護師職能合同交流会準備、打ち合わせ ・保健師助産師看護師職能合同交流会開催
8	令和４年11月19日 （オンライン併用）	8名	・「地域で働く看護職の交流会」打ち合わせ ・令和４年度活動報告検討 ・看護師職能ⅠⅡ委員会合同交流会開催
9	令和４年12月３日 （オンライン併用）	10名	・「地域で働く看護職の交流会」準備、打ち合わせ ・「地域で働く看護職の交流会」開催 ・令和５年度活動計画検討
10	令和５年１月14日 （オンライン併用）	7名	・令和５年度看護協会の重点方策及び重点事項について ・令和５年度活動計画検討
11	令和５年２月18日 （オンライン併用）	8名	・令和４年度活動報告検討 ・令和５年度活動計画検討
12	~~令和５年３月18日~~	中止	・全国職能委員長会報告

■活動内容	１．看護師職能Ⅱ委員会研修 日　時：令和４年５月７日　13：30～16：00 場　所：兵庫県看護協会会館（オンライン併用） 内　容：「介護施設における看護職員のあり方とは」～役割発揮の強化に向けて～ 講　師：日本看護協会医療政策部在宅看護課　中村奈央　氏 参加者：会場14名、オンライン88名、合計102名 ２．保健師助産師看護師合同職能集会 日　時：令和４年６月16日　9：30～12：00 場　所：兵庫県看護協会会館（オンライン併用） 内　容：長引くコロナ禍の今、大切にしたい看護職の心のケア ～働く人を守るために～ 講　師：兵庫県こころのケアセンター　センター長　加藤寛　氏 ３．保健師助産師看護師職能合同交流会 日　時：令和４年10月15日　13：00～16：30（会場） 令和４年11月１日～11月30日（オンデマンド配信） 場　所：兵庫県看護協会会館 内　容：性の多様性と看護について一緒に考えてみよう 講　演：１）医療スタッフが知っておきたいLGBTQ/SOGIの基礎知識 講　師：岡山大学学術研究院保健学域　教授　中塚幹也　氏 ２）性の多様性と看護 講　師：大手前大学国際看護学部　教授　藤井ひろみ　氏 ４．看護師職能ⅠⅡ委員会合同交流会 日　時：令和４年11月19日　13：30～16：30 場　所：兵庫県看護協会会館（オンライン併用） 内　容：「多職種で一緒に地域とつながる・支える」 病院と地域の更なる連携を深めるために地域で活動する 理学療法士含め交流 講　演：アーチリハビリテーション研究所　作業療法士　惠濃雄一　氏 理学療法士　高橋正樹　氏 参加者：38名（会場25名、オンライン13名） ５．地域で働く看護職の交流会 日　時：令和４年12月３日　13：30～16：30 場　所：兵庫県看護協会会館（オンライン併用） 内　容：ＡＣＰにつなげる活動の実際～施設や事業所における取り組み～ 講　師：医療法人甲風会　有馬温泉病院　西山みどり　氏 参加者：47名（会場16名、オンライン31名）
■活動の評価	目標１　介護施設や事業所における看護の役割を強化する。 ５月に実施した研修会では、コロナ禍の中、感染対策等地域で働く看護職に求められる役割が大きくなっている現状を受け、ケアの向上や感染対策の推進が図れる職場づくりをテーマとした。結果、介護施設に所属する看護師の参加が54％と多く、利用者アンケートでも90％が満足と回答されていた。これは、職場改善の必要性を感じている介護施設等の看護師が多く参加され、研修を受けたことで課題解決の具体策を見出すことが

	できた結果と考える。又「介護施設に特化した研修が少ない」「介護施設での課題解決につながる研修を定期的に行ってほしい」という要望があった為、今後も介護施設等での看護実践の充実が図れる研修や交流会を企画し、看護の役割を強化していく必要がある。 12月に実施した地域で働く看護職交流会では、ACP を推進していく為にそれぞれの現場でどのような取り組みが行われているのかを知り、自施設の ACP の推進方策を考える事をねらいとし、施設や在宅事業所での取り組み 5 事例の発表後、グループワークを実施した。結果、今後の業務に役立つと回答された方が100％あり、高い満足度を得ることができた。しかし、「講師の講義が少なかった」「ZOOM での意見交換はファシリテーターがいない為十分でなかった」等の意見があった為、研修内容や Web を用いたグループワークの進め方が不十分であった為、今後の課題と考える。 目標２　地域で働く看護職の連携と協働の推進を図る。 保健師助産師看護師職能合同交流会や看護師職能ⅠⅡ委員会合同交流会の研修を通じ看護師職能Ⅱ以外の看護職とのグループワークを行ったことで、他職能との交流の機会が持て、看護職それぞれの立場を理解する事ができた。又、互いが知りたい情報に違いがあることが分かり今後の連携方法を見直す必要性について気づく機会になったと共に、看護師職能Ⅱ領域の看護を知っていただける機会にもなった。 看護師職能ⅠⅡ委員会合同交流会では理学療法士を講師に迎え「多職種で一緒に地域とつながる・支える」をテーマに講義や ICF の考え方を用いたグループワークを行った。 結果、看護職間や多職種協働の必要性を再認識することができた。
■今後の課題	・地域で働く看護師の連携を強化する取り組みが継続的に必要 ・オンラインでのグループワークや意見交換の充実
■看護協会への提言・要望	・高齢者施設や介護保険事業所で働く看護師への研修案内は兵庫県からの周知が有効である為、継続的に協力を要請していただきたい。